

令和3年度 事業計画

◆基本方針

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域福祉活動の多くが休止・縮小を余儀なくされるなどの厳しい影響を受け、これまでの普段の暮らしは大きな変容を強いられています。

また、長引く外出自粛に伴う高齢者や障害のある方々の孤立などの問題は、人々の連帯やつながりの重要性が改めて喚起されることにもなりました。

このような状況を踏まえ、西区社会福祉協議会は今年度先ず地域福祉活動の再開・発展に向けた取組を進めるとともに、新たな課題や変化する状況に柔軟な対応を図って行きます。

また、「支え手」「受け手」の関係を超えて、すべての人々が地域、暮らし、生きがいとともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」への理解を更に広げるとともに、身近な地域における共助の層を厚くする取組へ積極的に支援して参ります。

コロナ禍の今だからこそ地域のつながり・支え合いがより大切となっており、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだすため、これまで積み重ねてきた実践成果と幅広い分野とのネットワークを活かし事業を推進して行きます。

◆重点項目

1 身近な地域のつながり・支えあい活動の推進（福祉活動の再開・発展に向けた支援）

新型コロナウイルス感染症の影響により休止や縮小を余儀なくされている地域福祉活動の再開や発展に向け、事例提供や新たな手法等の提案、助成金の活用など地域の方々に寄り添いながら状況に合わせ支援して行きます。

2 生活支援体制整備事業の推進

地域ケアプラザとの連携を一層強化し、制度では解決できない地域の生活課題への対応に向け、支えあい活動・見守り活動の充実、誰もが気軽に集える居場所づくりや生きがいをもって参加できる活動づくりを検討して行きます。また、区役所と共に区域での課題を整理し協議を進めます。

3 地区社協支援の充実

地区社協が地域の様々な団体のネットワーク組織である特徴を生かして、地域の課題を把握し、話し合いを進めながら、課題解決を図ることが出来るよう支援します。

また、各地区で関係機関と連携しながら「話し合いの場・交流の場づくり」や「一人ひとりの生活を支える活動」がより一層推進されるよう取り組んで行きます。

4 西区地域福祉保健計画（にこまちプラン）の推進と次期計画の策定

アフターコロナ、ウィズコロナにおける地域活動の再開を支援するとともに「にこまちプラン」の各取組への支援をより充実し、“にこやか しあわせ 暮らしのまちづくり”を推進します。

また、地域が目指すまちの未来像を共有しながら、「第4期にこまちプラン区全体計画及び地区別計画」を区役所と協働して策定・支援します。

5 組織運営の充実・基盤強化

様々な課題に迅速・柔軟に対応するため、事業の見直し・効率化、経費削減に努め、経営改善と運営基盤の強化を図ります。

また、職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上を図り、信頼ある適正な業務執行を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場づくりを進めます。